

228号線改良の進捗は

23年度に90m 今年度は690mを延長



柴崎 勝 議員

質問 この道路を通る地域は優良農地を形成しているが、農地以外の利用が考えられるか何う。

回答 建設課長 今年度は全地区の用地買収を行なう予定です。町としては平成22年・23年度に用地買収を行ない、一部は今年度を実施する予定です。工事については平成23年度に工事延長90メートルを施工し、今年度はトータルで690メートル分を工事発注します。



道路改良予定地

すたむちゃんのひとひも

国道254号バイパス迂回路(町道228号線)とは…県道部分1900m + 町道部分1800mの総延長3700m(バイパスの渋滞解消のため、八和田地内につくる道路)。

じて土地利用の見直しを検討する必要があると思われま。

総合運動公園の活用

質問 将来、野球場として整備を計画している場所の簡単な造成をして、少年サッカーやグラウンドゴルフなどの練習場として利用できるような整備を考えているか何う。

回答 生涯学習課長 スポーツ推進審議会に諮り、有効活用について模索していきたいと考えています。

質問 将来、野球場として整備を計画している場所の簡単な造成をして、少年サッカーやグラウンドゴルフなどの練習場として利用できるような整備を考えているか何う。

回答 生涯学習課長 スポーツ推進審議会に諮り、有効活用について模索していきたいと考えています。

質問 今回ホンダ関連の企業誘致も進んでいる中、国道254号バイパスの渋滞解消を図る目的で県・町で進めている町道228号線道路改良事業の進捗状況について何う。

回答 建設課長 県では平成23年度に後伊地区の用地買収を行ないました。今年度は全地区の用地買収を行なう予定です。町としては平成22年・23年度に用地買収を行ない、一部は今年度を実施する予定です。工事については平成23年度に工事延長90メートルを施工し、今年度はトータルで690メートル分を工事発注します。

質問 パパ・ママ応援ショップでは、本年4月から6県の連携が始まり、また、小児救急電話相談#8000は、本年7月から夜11時までだった相談時間が翌朝7時までに延長された。家庭への周知はどのようにされているのか。

回答 子育て支援課長 パパ・ママ応援ショップは、7月の広報に掲載しました。#8000は、10月の広報に掲載する予定です。広報・ホームページ等で周知しています。

子育て支援

パパ・ママ応援ショップ等の周知は広報などで周知しています



高橋 さゆり 議員

質問 聴覚の衰えは年を取るにつれて気がつきにくくなる。高齢者に少しでも元気に生活していただくために、基本健診に聴覚検診を組み入れることはできないか。

回答 町民生活課長 加齢性難聴や老人性難聴と呼ばれるものとは理解ができません。現在のところ、失われた有毛細胞を元に戻すことはできないと言われており、有効な治療法も見つかっていないとのこと。特定健診は、予防や早期治療につなげることを目的としています。必要を感じた人が専門的な医療機関に相談することが、より効果的ではないかと考えています。

質問 聴覚の衰えは年を取るにつれて気がつきにくくなる。高齢者に少しでも元気に生活していただくために、基本健診に聴覚検診を組み入れることはできないか。

回答 町民生活課長 加齢性難聴や老人性難聴と呼ばれるものとは理解ができません。現在のところ、失われた有毛細胞を元に戻すことはできないと言われており、有効な治療法も見つかっていないとのこと。特定健診は、予防や早期治療につなげることを目的としています。必要を感じた人が専門的な医療機関に相談することが、より効果的ではないかと考えています。



高齢化社会に向かって

質問 聴覚の衰えは年を取るにつれて気がつきにくくなる。高齢者に少しでも元気に生活していただくために、基本健診に聴覚検診を組み入れることはできないか。

回答 町民生活課長 加齢性難聴や老人性難聴と呼ばれるものとは理解ができません。現在のところ、失われた有毛細胞を元に戻すことはできないと言われており、有効な治療法も見つかっていないとのこと。特定健診は、予防や早期治療につなげることを目的としています。必要を感じた人が専門的な医療機関に相談することが、より効果的ではないかと考えています。

◎防災計画
◎いじめ問題

その他の質問

質問 ミス七夕の選考。イベントの復活は。

回答 産業観光課長 今までの経過を精査し、実行委員会と協議します。

質問 栃本親水公園完成以降、七夕まつりにおける公園の活用は。

回答 産業観光課長 新たな花火の観覧場所として整備、活用したいと考えています。

質問 町の魅力の発信と、今後の

地域活性化

七夕まつりのさらなる充実を最大限の努力をします



高瀬 勉 議員

質問 さまざまな要因で年々、竹飾りが減少している。改善策の一案として、飾りつけをしようという支援ボランティアの募集についての考えは。

回答 産業観光課長 広く、「七夕まつり応援隊」という形態で検討しています。

質問 PR活動として、また、クルーズの一環として、町職員による統一のポロシャツ等の着用は。

回答 総務課長 費用の面を考慮し、内部で検討します。

質問 展示は。町長 当初、祇園祭り七夕まつりは別開催でした。それらが同一開催となり、バラエティーに富んだ当町らしい祭りが開催されています。近年は2日間約20万人の来場があり、遠方からも多くのリピーターにいます。今後も全町民のご理解とご協力なくして、祭りの発展は考えられません。

